

許 可 番 号	倫-
研 究 課 題 名	健診事業における生活習慣関連肝疾患の現状と課題
診 療 科	消化器内科
研 究 責 任 者	佐藤俊輔
資 料 ・ 情 報 の 管 理 責 任 者	順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科 佐藤俊輔
研究の目的と方法	これまで肝がん・肝硬変の主な原因は C 型肝炎などの肝炎ウイルスでしたが、抗ウイルス薬の進歩とライフスタイルの欧米化に伴い、脂肪肝などの「生活習慣関連肝疾患」が急増しています。2016 年時点で脂肪肝は約 227 万人、このうち肝臓の線維化が進行した患者さんは約 66 万人と推計され、今後 2030 年には 99 万人へと増加するものと予測されています。 脂肪肝は実臨床で経験する機会が多い疾患なため、効率的に危険な脂肪肝をスクリーニングする必要があります。最近の研究により生活習慣関連肝疾患の生命予後には「肝臓の線維化」が重要な予後予測因子であることが分かり、肝線維化進展例の拾い上げが重要と考えられるようになってきました。したがって欧米や本邦のガイドランにおいても全症例をスクリーニングすることは推奨されておらず、簡便で侵襲の少ないスコアリング法や超音波画像技術を用いたスクリーニングを推奨されています。 こうした現状をうけて我々は、ふじの町クリニック・健診センター（富士市、院長 河合秀彦）から健診データの提供を受けて、一般人口（健診受検者）における肝線維化進展例の頻度を FIB-4 index（年齢・AST・ALT・血小板数から算出する方法）を用いて明らかにし、その臨床的特徴を後方視的に検討する共同研究を計画しました。
利用、又は提供する 試料・情報の項目	① 基本情報（年齢，性別，身長，体重，BMI，腹囲，収縮期血圧・拡張期血圧，喫煙歴） ② 基礎疾患の有無（糖尿病，高血圧，脂質異常症） ② 血液検査（ヘモグロビン，白血球数，血小板数，総ビリルビン，AST，ALT，総蛋白，アルブミン，空腹時血糖，HbA1c，中性脂肪，LDL コレステロール，HDL コレステロール，尿酸値，HBs 抗原，HCV 抗体）
研 究 対 象 者	2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までの期間中に、ふじの町クリニック・健診センター（富士市）で健診を受けた受検者のうち FIB-4 index が算出可能な症例
研 究 対 象 期 間	西暦 2021 年 5 月 31 日から西暦 2027 年 3 月 31 日の間

利用する者の範囲	順天堂大学医学部附属静岡病院 研究責任者：佐藤俊輔
個人情報の取扱いについて	使用するデータは、個人情報特定されないよう匿名化に十分配慮して扱います。 研究成果が公表される場合にも、患者さんが特定できるような情報が公表されることはありません。
お問い合わせ先	該当する研究の対象となる患者さん（のご家族）で、ご自身の情報を利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。 順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科 電話：055-948-3111(代表) 研究責任者：佐藤俊輔